

日本塑性加工学会・日本鍛圧機械工業会 産学連携企画
(第 102 回塑性加工技術フォーラム)
「新たな価値創造と業務改革を進める省人化生産技術」

日 時：2025 年 12 月 5 日（金）13:30～19:00
会 場：機械振興会館 ホール（地下 2 階） [東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 電話(03)3432-4579]
交 通：東京メトロ日比谷線 神谷町駅より徒歩約 8 分
(アクセスマップ <https://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>)
主 催：日本塑性加工学会・日本鍛圧機械工業会
協 賛：日本機械学会、日本材料学会、日本鉄鋼協会、日本金属学会、軽金属学会、精密工学会、自動車技術会、
日本金属プレス工業協会、素形材センター、日本金型工業会、日本鋳造工学会
趣 旨：本フォーラムは、日本鍛圧機械工業会と日本塑性加工学会の共催による企画行事です。今回で第 102 回を迎える
本フォーラムでは、人手不足や生産体制の変化といった社会的リスクを成長のチャンスと捉え、新たな価値創造
と業務改革を進める省人化技術、デジタル化技術、教育分野の最先端技術や研究について幅広く発表します。
さらに、本フォーラムは、塑性加工技術の研究開発に関して産学連携を深めることのできる内容となっています。
講演会終了後に、講師や参加者同士の情報交換とネットワークづくりのための懇親会（参加費無料）を行います。

プログラム：開会の辞（13:30～13:40）		日本塑性加工学会産学連携委員長 日本鍛圧機械工業会専務理事 (株)日立製作所	柳田 明君 生田 周作君 佐藤 英樹君
司 会			
時 間	内 容	講 師	
13:40～14:30	鍛造のデジタルトランスフォーメーション：モノづくり各工程にデジタル技術の適用が進んでいる。本講演は、鍛造のエンジニアリングプロセスとマニファクチャリングプロセスに適用されたサイバーフィジカルシステムの実例を示し、今後の DX 化の展望について述べる。	日産自動車株式会社 藤川 真一郎君	
14:30～15:10	レーザー微細加工におけるインフォマティクス技術の活用：レーザー微細加工は、変種変量生産に適した製造技術であるが、その反面、開発においてパラメータ最適化に労力と時間がかかる。プロセスインフォマティクスや計測インフォマティクス手法を活用して、開発期間の短縮や高生産性・高品位化を目指した研究について紹介する。	産業技術総合研究所 吉富 大君	
15:10～15:30	休憩（休憩時間は、講師および参加者との情報交換にもご活用ください）		
15:30～16:10	革新的な金属加工技術に寄与するプロセス可視化と DX への取組み：塑性加工において、SDGs への取組みや高付加価値ものづくりにはデジタル技術は有用なツールとして不可欠であると認識されつつある。本講演では、革新的な金属加工技術に寄与するプロセス可視化、DX への取組み事例を紹介する。	東京都立大学 楊 明君	
16:10～16:50	外観検査 AI の変遷：深層学習からマルチモーダル活用へ：省人化と品質の両立が求められる製造現場において、外観検査の自動化は今や不可欠な要素である。この自動化を実現するために、深層学習を用いた外観検査の研究が活発に進められてきた。本講演では、その技術的進化を振り返るとともに、研究室で取り組んでいるマルチモーダル技術を活用した汎用外観検査モデルについて紹介する。	岐阜大学 林 良和君	
16:50～17:00	閉会		
17:10～19:00	懇親会（会場：機械振興会館 6 階「6-67 会議室」）		

定 員：60 名（定員になり次第締切ります。）
参 加 費：日本鍛圧機械工業会会員企業は無料。
テキスト：当日レジュメを配布いたします。
申込方法：別添の「新たな価値創造と業務改革を進める省人化生産技術」参加申込書（日鍛工会員用）にご記入の上、
メール (yoshimura@j-fma.or.jp) 添付でお申込みください。
懇 親 会：参加費無料（講師、参加者と直接にお話しが出来る絶好の機会です。多くのご参加をお待ちしております。）
注 意：講演中の撮影・録音は禁止します。